



四月、中学校教諭としては三校目の津市立橋北中学校に着任、二五組を担任し、校務分掌では、JRC委員会担当となりました。当時の私は二十八歳、独身、教員の中では最年少でした。

JRC委員会とは、青少年赤十字に全校加盟の同校にあって、生徒会活動の中で青少年赤十字精神を学び、活動する中心となる委員会、各学級代表一人全校で三十六人の委員)で成っていました。

【一】 青少年赤十字との出会い

青少年赤十字(JRC)と共に55年 思い出あれこれ

三重県青少年赤十字賛助奉仕顧問 田中 彌



青少年赤十字

第27号

発行者 日本赤十字社
三重県支部
発行 令和二年十月



全校加盟校でありながら、目立つた活動もなく、隣席の担任に尋ねても明確でなかったのが、校区にある日本赤十字社三重県支部を訪れ、担当の方から青少年赤十字の具体的な活動について、いろいろ学びました。

そして、五月には全校集会を開き、加盟登録式を行う中でバッジを胸につけ、誓いを唱和し、JRC委員長から、具体的活動の第一歩として「赤十字募金」を提案したのでした。

また、私は、六月に神宮会館伊勢市で開かれた二泊三日の指導者研修会に参加、多くの先輩から実践例等を学びました。夏休みには、芸濃中学校を会場に開かれた三重県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(県トトレセン)中学校の部に、四人の生徒代表と三泊四日で参加し、多くの活動を体験しました。

【二】 本格的に JRC 活動開始

一学期に入ると、県トトレセンに参加した生徒たちは、全校集会で体験報告を行い、また後期生徒会役員選挙に立候補、役員となつて、いくつかのV.S(ボランティア・サービス)活動を計画し、実践のリーダーになりました。私は、生徒た

【三】 県トトレセン参加と校内トトレセン実施

橋北中二年目、新しい県の施設で開かれた県トトレセンには、参加生徒数を増やし、先生方にもスタッフとして参加を呼びかけました。

また、県の指導者協議会の合宿研修会に出席する先生も何人かありました。これについては、当時の校長や教頭の強い配慮のお陰であり、生徒会や学級での青少年赤十字活動を活性化させたことは言う

ちと共に活動する前には、時間を見つけて先輩の先生個々に話しかけ、多くの指導・助言をいただきました。

三学期には、生徒会担当と協議し、職員会議で生徒会の組織替えを決め、四月には、私も生徒会担当の一人となり、生徒会即JRCとして、赤十字精神を取り入れた生徒会活動を展開することになりました。

【四】 忘れられない先輩方

私は、橋北中学校に六年間勤務した後、津市内の東橋内中学校や白塚小学校に勤務し、毎年学級担任や生徒会(児童会)担当を経験しました。その後は、主に教育行政に携わり、学校から離れたが、青少年赤十字活動の中でこの指導いただいた方々との出会いは、私の教員生活の中で大きな力となりました。

就中、橋北中学校赴任当時の前田校長と池山教頭には、生徒指導についても助言いただき、親身になって指導いただきました。また、日本赤十字社三重県支部の歴代の事務局長や青少年赤十字担当の方々には、熱心にお世話をい

までもありません。

このころ、橋北中には、まだ体育館が無く、毎週月曜日の朝、運動場で全校集会を開いていたのですが、翌年には、他の曜日の朝、毎日運動場で十五分間の生徒集会を開くことになり、教師は生徒会担当が一人、交代で指導・助言に当たりました。

そして三年目には、県の施設を借りて、県のトトレセン参加者をリーダーに、一二年の学級代表対象に、二泊三日の校内トトレセンを開くことを始めました。こうした活動を通して、生徒たちの自主性・実践性が高まっていきました。やがて、新しく県庁前に出来た公園の清掃を、毎月第三日曜日の朝七時より行う活動が始まりました。これは、生徒会掲示板でのポスター募集に応じて、誰でも自由に参加できる活動で、いつも五十〜百人の生徒が集まり、約三十分で活動が終えられるほどでした。この県庁前公園の清掃は、確か十五年は続いていたように思います。

【五】 終わりに

私は今八十三歳、青少年赤十字のお陰で、これまで病気をすることなく、今も青少年赤十字賛助奉仕団の一員として赤十字活動に参加させていただいております。

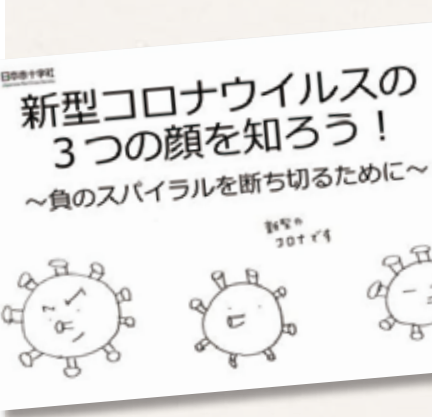
多くの方々のご尽力で、県下の加盟校は増え、日常的な教育活動の中で、すばらしい奉仕活動等を続けてもらっています。しかし、このところの県のトトレセンに児童生徒を送っているだけでなく、学校が少なくなっているのは、誠に残念です。

私は加盟校の校長先生や若い先生方が、青少年赤十字の指導者研修会に参加していただいたり、県のトトレセンを参観していただいたりすることが大切だと思います。

それは、各学校や学級での授業改善などの課題解決にも役立つと思ふこのころです。

ただしました。

その中で最も印象的な方は、青少年赤十字の指導者研修会で時々お目にかかった日赤本社の橋本祐子青少年課長です。先生が常に口にされた言葉で忘れられないのは、「奉仕は人生の家賃なり」と「物事を決める時に大切なのは、できるかできないかではなく、やるかやらないかで決めることです」。この2つは、私の人生訓として常に頭の中にあり、これからも大切にしていきたいと思っています。



新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～

『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！』負のスパイラルを断ち切るために。新型コロナウイルス感染症について学ぶことが出来る教材です。この感染症は、3つの顔を持っており、これが、負のスパイラルとしてつながることで、更なる感染の拡大につながっています。日本赤十字社は、この「負のスパイラル」を知り、断ち切るためのガイドとしてこの教材を作成しました。



『まもるいのち ひろめるぼうさい』の教材は、小学1〜3年生用、小学4〜6年生用、中学生・高校生用の3種類です。自分のいのちを守る力を身につけること、学校・地域・家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りの命を救うこと。いのちの大切さ、思いやり、心を育てることを目指して、授業ですぐ使える防災教材をこの一冊にまとめています。

児童生徒が主体的に防災に取り組み、一「気づき」を考え、実行する「力」を重視。「自然災害の正しい知識」「自ら考え、判断し、危険から身を守る行動」

『まもるいのち ひろめるぼうさい』の教材は、小学1〜3年生用、小学4〜6年生用、中学生・高校生用の3種類です。自分のいのちを守る力を身につけること、学校・地域・家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りの命を救うこと。いのちの大切さ、思いやり、心を育てることを目指して、授業ですぐ使える防災教材をこの一冊にまとめています。

児童生徒が主体的に防災に取り組み、一「気づき」を考え、実行する「力」を重視。「自然災害の正しい知識」「自ら考え、判断し、危険から身を守る行動」

『まもるいのち ひろめるぼうさい』の教材は、小学1〜3年生用、小学4〜6年生用、中学生・高校生用の3種類です。自分のいのちを守る力を身につけること、学校・地域・家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りの命を救うこと。いのちの大切さ、思いやり、心を育てることを目指して、授業ですぐ使える防災教材をこの一冊にまとめています。

児童生徒が主体的に防災に取り組み、一「気づき」を考え、実行する「力」を重視。「自然災害の正しい知識」「自ら考え、判断し、危険から身を守る行動」

青少年赤十字の防災教育

未来を担う子どもたちは、将来起こりうる自然災害に対し、正しい知識を持ち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動をとる必要があります。子どもたちが知識と行動力を身につけ、自分の命は、自分で守ることが出来るようになることを目標として「防災教育」を実施しています。

青少年赤十字の特徴的な手法である「気づき」を考え、実行するという態度目標を用いた日本赤十字社の防災教育は、「人連」の取り組みです。児童生徒が主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることができることも、他者への思いやりや優しい「いのちの大切さ」を学ぶことができる内容になっています。

令和2年度の加盟校・園

本年度の加盟登録をした学校・園は385校・園です。本年は春先から新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、学校は新学期早々から臨時休校になりました。そのために年間の活動の見通しが立たないといふことで本年度の加盟登録を控えられた学校がありました。休校した幼稚園もあり、本年度の加盟は全体で10校、園減少しました。

青少年赤十字は、「健康・安全・奉仕・国際理解」親善を実践目標に、「気づき」を考え、実行するを態度目標として活動しています。新型コロナウイルスの影響がめぐる状況にありますが、各学校・園の皆さんが学校や地域の状況に応じた活動を積極的に進めていただくことを期待しています。

なお、各学校・園の活動紹介書は、令和3年1月31日まで三重県支部へ提出していただきますようお願いいたします。



加盟数	
保育園	12
幼稚園	52
小学校	228
中学校	83
義務教育学校	1
高等学校	8
特別支援学校	1
合計	385

令和2年は春先から新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、国内においても緊急事態宣言が出され、外出の自粛や施設の使用制限等が求められ社会生活が大きく制限されました。学校では、大切な行事である卒業式・入学式でも新型コロナウイルス対策が必要となり、年度末に加え、年度初めからも臨時休校が実施されるなど大きな影響を受けました。

新型コロナウイルス感染症は学校だけでなく、社会のあらゆるところに大変大きな影響を与え、新型コロナウイルスをめぐるデマの拡散に加え、この感染症に感染した方や懸命に対策や治療にあたる医療従事者の皆さんへの差別など、あつてはならない差別が起こる社会の弱さやもろさも見せつけられました。

6月11日、学校が本格的に再開して早々の時期ですが、津市立橋南中学校で行われた2年生の人権学習を参観させていただきました。日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を活用して、3つの感染症の差別に焦点をあて、これからの自分の生き方を考える授業です。先生方が差別を許さない子ども達を育てようとする指導をされる先生方と授業に取り組む生徒の皆さんの姿に、私もエネルギーをいただきました。青少年赤十字の実践目標は「健康・安全・奉仕・国際理解・親善」そしてその態度目標は「気づき」を考え、実行することです。生徒の皆さんが、この授業で学んだことや気づいたことを、自分のやり方で真摯に実行してくれたいことを願っています。



令和2年度

三重県青少年赤十字

指導者協議会

役員の紹介

役職名	名前	所属所名
会長	青木利斉	津市立西橋内中学校
副会長	宮村昇	伊勢市立明倫小学校
副会長	川田佳也	松阪市立三雲中学校
副会長	大藤久美子	三重県立白子高等学校
理事	森本敏子	明和ゆたか園
理事	中島美代子	津市立密柑山幼稚園
理事	川崎奈保美	熊野市立本木小学校
理事	三輪辰男	津市立橋北中学校
理事	敷地哲也	津市立久居中学校
理事	小川晃範	鈴鹿市立長太小学校
理事	伊達智博	松阪市立山室山小学校
理事	後藤勝弘	津市立南が丘中学校
理事	村瀬卓也	津市立南郊中学校
理事	内山智	三重県立本木高等学校
理事	川上真由子	三重県立飯野高等学校
参与	大塚千尋	三重県教育委員会 小中学校教育委員会
参与	井上珠美	三重県教育委員会 高校教育課長
参与	林 幸喜	三重県教育委員会 社会教育文化財保護課長
参与	西口修身	三重県小中学校校長会 伊賀市立西野小学校 伊賀市立西野小学校 多賀郡立小中学校校長会 多賀郡立小中学校校長会
参与	小林弘明	津市教育委員会教務長
参与	森 昌彦	三重県青少年赤十字 三重県青少年赤十字 賛助奉仕団副委員長
顧問	東谷和久	三重県青少年赤十字 賛助奉仕団副委員長
顧問	松田克己	三重県支部事務局

せいしやうねんせきじゆうじ
青少年赤十字
たい ど もく ひよう
態度目標
◆ 気づき
◆ 考え
◆ 実行する

みなさん、この問題にチャレンジしてください！

ぼう さい しん がた ひ ごろ い しき そな たい せつ
防災も、新型コロナウイルスも、日頃からの意識と備えが大切です。

せいしやうねんせきじゆうじ
青少年赤十字
じっ せん もく ひよう
実践目標
◆ 健康・安全
◆ 奉仕
◆ 国際理解・親善

問題 1 新型コロナウイルスには3つの顔があります。
そして、この3つの感染症はつながっています。

「 」の中に、適切な言葉を入れてください。漢字2文字です。

問題 3 地震の問題です。

がっこう じ しん もん だい
学校にいたときに地震がきました。学校には、ぐらぐらゆれるあぶないものがたくさんあります。下のイラストの中で、あぶないものに○をつけましょう。

ヒント
「たおれてくるもの」
「おちてくるもの」
「うごいてくるもの」

出典:『まもるいのち ひろめるぼうさい』小学生用(1-3年)・ワークシート1「地震から身を守ろう」

問題 5 災害に備えて、どんな準備をしていますか。

さい がい そな じゅん び
いつ来るか分からない災害に備えて、家族で話し合い、一人ひとりの避難バッグを用意するなど、災害への準備をしてみましょう。

かぞく はな あ した かつよう さいがい そな
① 家族と話し合いながら、下のチェックリストを活用して災害に備えましょう。

<input type="checkbox"/> 現金 (小銭をふくむ) ※公衆電話用に10円玉、100円玉も	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> マッチライター
<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 給水袋
※以下の2つは、携物を持ち出せなかった場合に備えて、コピーを入れておく。	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 雨具 (レインコート、長靴など)
<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (予備電池をふくむ)	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> 身分を証明できるもの (学生証、パスポートなど)	<input type="checkbox"/> 笛やブザー (音を出して居場所を知らせるもの)	<input type="checkbox"/> 救急セット
<input type="checkbox"/> 予備の眼鏡	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ	<input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬
<input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器をふくむ)	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ (予備電池をふくむ)	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> トイレ用ペーパー
<input type="checkbox"/> 家族の写真 (はぐれた時の確認用)	<input type="checkbox"/> ビニール袋	<input type="checkbox"/> 簡易枕 (下着をふくむ)
<input type="checkbox"/> 家族との災害時の取り決めメモ	<input type="checkbox"/> アルミ製保護シート	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> 生理用品
	<input type="checkbox"/> スリッパ	<input type="checkbox"/> 歯みがきセット
	<input type="checkbox"/> 軍手	

問題 2 おおきなじしんがきました。

えのなかにいる10にんのおともだちのなかに まちがったこと、きけんなことをしている子がいます。なんばんの子ですか？

じしん②
もんだい

出典:保育園・幼稚園用『ぼうさいまちがいがさし きけんはっけん!』シートC裏「じしん②」もんだい(地震)」

問題 4 津波災害の問題です。

した しつもん ただ おも ほう
① 下の質問で、正しいと思う方に○をつけましょう。

(1) 津波から身を守るための基本はどちらでしょうか？
() 津波を確認するため、海に見に行く () なるべく高いところに逃げる

(2) 大きな地震が起きました。津波が来るまでにはどのくらいの時間がかかりますか？
() 5分くらい () 1時間くらい
() 30分くらい () 決まっていない

(3) 避難場所に着いたあと、しばらくしたらどうしたらよいですか？
() 津波が本当に来たのか見に行く
() 津波警報が解除されるまで戻らない

(4) 友だちと海の近くに遊びに来ている時に大きな地震が起こり、津波の警報が出されました。友だちは、「津波をじかに見てみたい。きっとそれほど大きくないし、僕たちは足が速いから、逃げることができるよ。」と言います。どうしますか？
() 津波を見てから逃げる () 見に行かずすぐに逃げる

② (4) の質問で○をつけたものについて、選んだ理由を書きましょう。

問題 6 グラグラグラ、大きな地震が発生！

いま お じ しん はつ せい
● 今、ここで起こったら？
がっこう かえ みち お
● 学校の帰り道で起こったら？
ともだち いえ あそ とき お
● 友達の家で遊んでいる時に起こったら？

かいとう
解答は
裏面に
あります